

長崎市道の駅夕陽が丘そとめ指定管理者候補者選定審査会  
審査報告書

令和6年10月

令和6年10月17日

長崎市長 鈴木 史朗 様

長崎市道の駅夕陽が丘そとめ指定管理者候補者選定審査会

会長 山口 純哉



長崎市道の駅夕陽が丘そとめ

指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎市道の駅夕陽が丘そとめの指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

### 1 審査結果

第一順位 そとめ「食」と「農」の架け橋共同事業体

### 2 選定審査会の構成

会 長	山口 純哉	国立大学法人長崎大学経済学部
職務代理者	小林 祐二	長崎市北部商工会
委 員	稲田 米穂	外海地区連合自治会
委 員	宮地 雄彦	一般社団法人 日本自動車連盟 長崎支部
委 員	山田 富雄	九州北部税理士会 長崎支部

### 3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容について、面接により審査を行いました。

審査の結果、指定管理者候補者として適当と認められるため選定しました。

審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、団体名を伏せて実施しました。

#### 4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和6年7月31日	【委員5人出席】 ・会長及び職務代理者の選出 ・指定管理者制度等の概要説明、募集要項等についての協議 ・現地視察 ・面接審査方法についての協議
第2回	令和6年10月17日	【委員5人出席】 ・審査方法確認 ・面接審査、指定管理者候補者団体の選定

#### 5 申請団体（届出順）

- (1) そとめ「食」と「農」の架け橋共同事業体

#### 6 採点結果（委員5人中5人による採点結果は別紙のとおりです。）

- (1) 第一順位 そとめ「食」と「農」の架け橋共同事業体

#### 7 審査会総評

- (1) 審査に係る総括的な講評

農水産品や世界遺産など外海地区が有する地域資源を、地元の生産者等と連携して販売、発信や開発する事業計画となっていることは評価できる。

また、管理運営体制や経営状況に、施設運営の妨げとなる事項は特に見あたらない。

- (2) 選定審査会からの要望

現況を省み、既存事業の改善や新しい取り組みの創出を、誰をターゲットに、どの程度の目標を掲げ、どのような手順で進めるのかという戦略性に乏しい。たとえば、SNSを用いて、誰に、どのような内容を、どれくらいの頻度で、どんな媒体を使ってプロモーションするのか等である。この点は、施設や運営団体にかかる毎年度の評価とも関係するため、応募団体と長崎市が協定書を検討、締結する過程において十分に協議されたい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点			第一順位		
	大項目	中項目	詳細	各委員	全体	計	そとめ「食」と「農」の架け橋共同事業体		
技術点	基本事項	基本方針	当該施設の管理・運營業務について、施設の設置目的等合った基本方針・理念を持っているか	4	20	40	16	33	
		個人情報保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	20		17		
	事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、「地域の振興」及び「道路利用者の利便性の向上」に資するという施設の設置目的が達成されるものであるか	12	60	140	42	89	
		魅力や利便性の向上	施設（物産販売所及びレストラン等）の地域の特性を活かした「地元産品にふれあう場」として、地域住民（出荷者を含む）及び地域外の利用者を対象とした利便性を高めるための提案、積極的な「地域情報の発信」、自主事業の提案であるかであるか	12	60		36		
		評価と改善	事業の提案に創意工夫や評価・改善体制があるか	4	20		11		
	管理運営体制	人員配置	職員配置は、当該施設の業務を行うのに適切か	8	40	100	28	66	
		収支計画・施設管理	当該施設の業務に係る収支予算書・管理に関する基本的事項は適切であるか	8	40		24		
		緊急時の対応	緊急時における、連絡体制等危機管理体制は適切か、また、事故防止対策の考え方と取組みについては適切か	4	20		14		
	技術点 計				56	280		188	
	価格点	価格	経費	経費は適切か	24		120	90	
合 計				80	400		278		